講演「専門職大学制度の発足とその質保証」

塩原 誠志

文部科学省高等教育局 主任大学改革官

要旨

- 大学制度の中に位置付きつつ、実践的な職業教育に重点を置いた新たな枠組みとして、2019 年度から専門職大学等が制度化される。専門職大学等は、既存の大学等にはない独自の基準により、産業界等と密接に連携した実践的かつ創造的な職業教育を行うこととされており、専門職大学院と同様、分野別認証評価の受審も義務付けられる。
- 日本の大学等の質保証は、大学等自身による内部質保証と、それらを担保するための設置基準、設置認可、認証評価、情報公表等の制度により枠付けられているが、
- ・2000年代以降、「事前規制から事後チェック」への改革の流れの中、大学等の量的規模の拡大が進む一方、その教育水準・内容に対しては様々な指摘がなされているほか、
- ・ 当該改革の目玉として導入された認証評価制度(2003年~)に関しても、その成果に関しては 未だ十分とは言えない面も多く、現在見直しの検討が進められている。
- 以上を踏まえつつ、専門職大学等の質保証について、その実質化に向けた今後の課題について概述するとともに、職能・産業団体との連携による分野別質保証の取組への期待等について意見表明する。

Speech

"The inauguration of a professional and vocational university / junior college system and its quality assurance"

Seishi Shiobara

Chief University Reform Director, Higher Education Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

Abstract

- The institutionalization of professional and vocational universities (PVU) / junior college (PVJC) is scheduled for launch in fiscal
 2019 as a new framework focusing on practical professional education within the university system. Under criteria different
 from those of conventional universities, PVU and PVJC will be tasked to provide practical, creative vocational education in close
 cooperation with industry. These institutions will also be subject to an evaluation of academic disciplines similar to professional
 graduate schools.
- Quality assurance of Japanese universities and colleges has been maintained by the schools' self-evaluations and the systems to
 guarantee them, such as the university establishment standards, establishment approval, evaluation and accreditation by
 certified organizations, and information disclosure; but
- the reform to shift "from prior regulations to ex post checks" after the 2000s has triggered a quantitative expansion of universities and other institutions, and various suggestions have been made on their educational standards and contents; and
- the results of the certified evaluation and accreditation system introduced in 2003 as a pillar of educational reform remain inadequate in many aspects, leading the authorities to consider reexamining the system.
- Based on these circumstances, the lecture will provide an overview of the issues involved in achieving a more substantial quality
 assurance system for PVU and PVIC, and offer an opinion on the expectations for collaborative efforts with professional and
 industrial organizations in the evaluation of academic disciplines.

講演 「専門職大学制度の発足とその質保証」

- 1. 専門職大学・専門職短期大学の制度化
- 2. 日本における大学の質保証の仕組み
- 3. 専門職大学等の質保証に向けた課題

1. 専門職大学・専門職短期大学の制度化

"Quality Guarantee of Higher Professional Education"

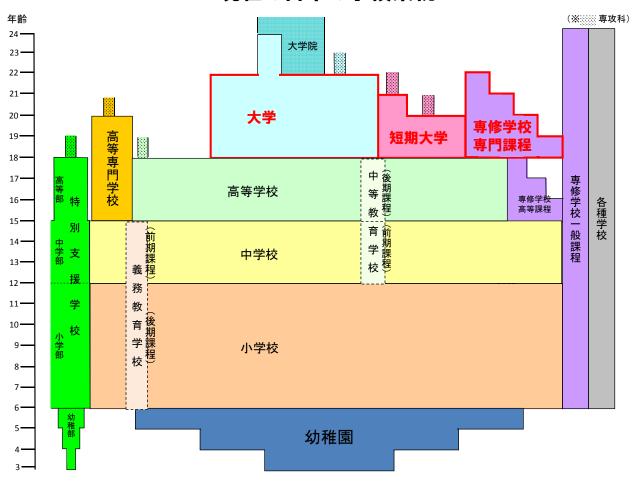
Speech

"The inauguration of a professional and vocational university / junior college system and its quality assurance"

- Institutionalization of professional and vocational universities (PVU) and professional and vocational junior colleges (PVJC)
- 2. Universities' quality assurance system in Japan
- 3. Issues of quality assurance for PVU and PVJC

1. Institutionalization of PVU and PVJC

現在の日本の学校系統



大学の設置者別学校数・学生数(20016年5月1日現在[速報])

<学校数>

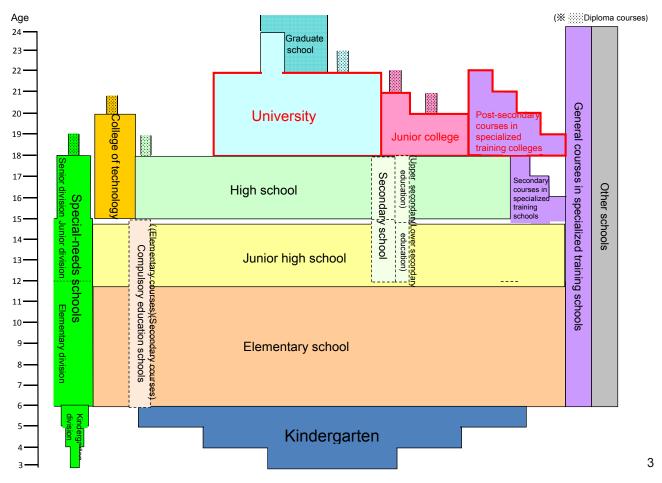
	計	国立	公立	私立
大学【学部】	756 (※1)	82	88	586
短期大学	337	_	17	320
高等専門学校	57	51	3	3
専門学校	2,823(%2)	9	185	2,629

※1 このほか、大学院大学が24校(国立4校、公立2校、私立18校) ※2 専門学校のうち、902校が職業実践専門課程に認定(2016年2月現在)

<学生数>

	āl	国立	公立	私立
大学院 250	2,582,884	441,921	133,756	2,007,207
	250,893	151,713	16,091	83,089
	119,729	_	6,499	113,230
高等専門学校【本科】 (うち4・5学年)	54,358 (21,018)	48,630 (18,836)	3,556 (1,351)	2,172 (831)
専門学校	588,719	369	24,755	563,595

School System in Japan Today



Numbers of Schools and Students per Operator Type (as of May 1, 2016 [provisional])

<Number of schools>

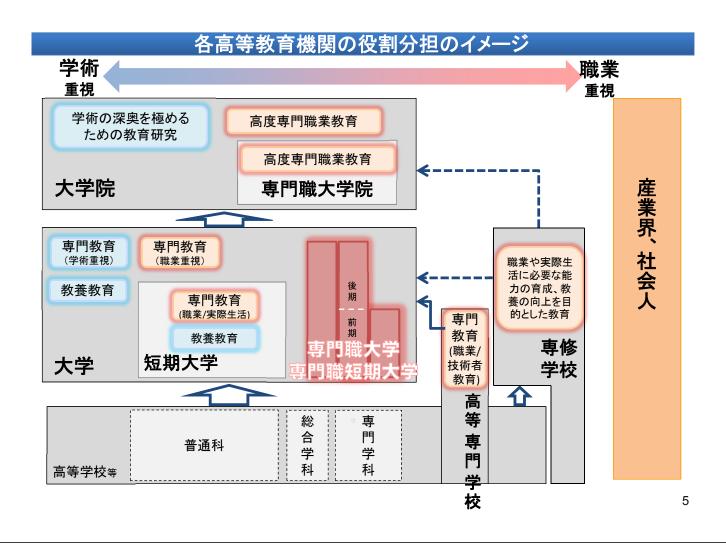
	Total	National	Public	Private
University [undergraduate]	756 (*1)	82	88	586
Junior college	337	_	17	320
College of technology	57	51	3	3
Professional training college	2,823(*2)	9	185	2,629

*1 Does not include 24 graduate universities (national: 4, public: 2, private: 18).
*2 Among professional training colleges, 902 have been certified as a professional

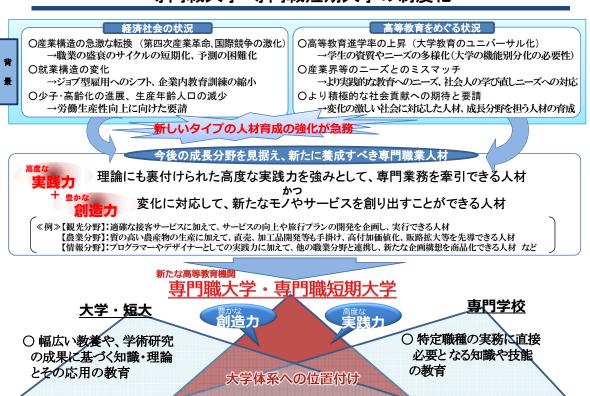
<Number of students>

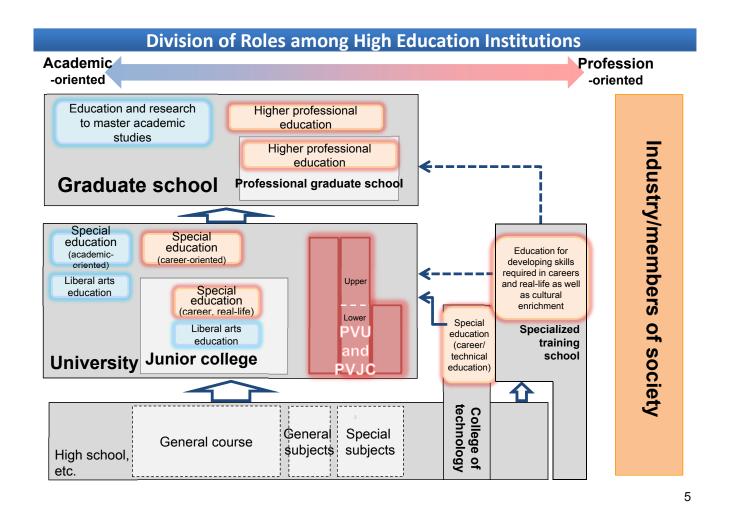
	Total	National	Public	Private
University [undergraduate]	2,582,884	441,921	133,756	2,007,207
Graduate school	250,893	151,713	16,091	83,089
Junior college [regular]	119,729	_	6,499	113,230
College of technology [regular] (junior and senior students)	54,358 (21,018)	48,630 (18,836)	3,556 (1,351)	2,172 (831)
Professional training college	588,719	369	24,755	563,595

post-secondary course (as of Feb 2016).

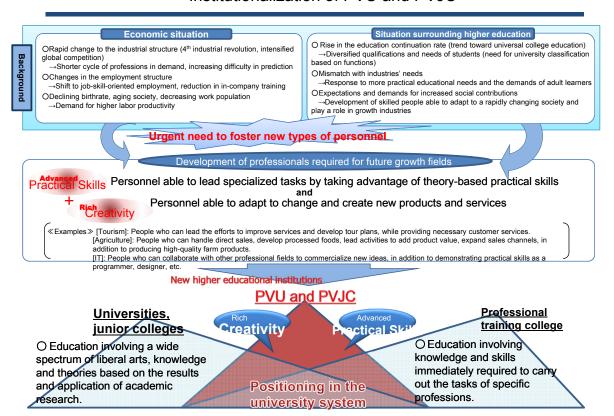


専門職大学・専門職短期大学の制度化





Institutionalization of PVU and PVJC



新たな高等教育機関 専門職大学・専門職短期大学

○幅広い教養や、学術研究 の成果に基づく知識・理論

大学・短大

創造力

実践力

専門学校

○特定職種の実務に直接 必要となる知識や技能の 教育

とその応用の教育 大学体系への位置付け

独自の基準の設定

国際通用性の担保

高等教育としての質保証

実践的な職業教育にふさわしい 教育条件の整備

度

【教育内容 】

- 「実践力」と「創造力」を育む教育課程
- 産業界等と連携した教育課程の開発・編成・実施
- 実習等の強化(卒業単位の概ね1/3以上、長期の企業内実習等)

【教 員] ・ 実務家教員を積極的に任用(必要専任教員数の4割以上)

※専任実務家教員の必要数の半数以上は、研究能力を併せ有する実務家教員

【 学生受入 】

- 社会人、専門高校卒業生など多様な学生の受入れ
 - ※ 社会人も学びやすい柔軟な履修形態
 - ※ 短期の学修成果の積み上げによる学位取得等も促進

【修業年限】

- ・4年(大学相当)、2年又は3年(短期大学相当)
 - ※ 4年制の課程については、前期・後期の区分制の導入も可

【学 位】

- ・4年制修了者には、「学士(専門職)」を授与
- ・ 2・3年制修了者、4年制の前期修了者には、「短期大学士(専門職)」を授与

【学部等設置】

・大学・短期大学における「専門職学部・学科」も制度化

7

学校教育法の一部を改正する法律の概要【「専門職大学」等の制度化について】

H29.5.31公布(平成29年法律第41号)

趣旨•背景

「第四次産業革命」の進展と国際 競争の激化に伴い、産業構造が急 速に転換する中、優れた専門技能等 をもって、新たな価値を創造するこ

今後の成長分野を見据え、新たに養成すべき専門職業人材 理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引できる人材

(m[観光分野]:適能な接客サービスに加えて、サービスの向上や旅行ブランの開発を企画し、実行できる人材 【農業分野]:質の高い農産物の生産に加えて、直急、加工品開発等も手掛け、高付加価値化、販路拡大等を先導できる人材 【情報分野]:フログラマーやデザイナーとしての実践力に加えて、他の職業分野と連携し、新たな企画構想を商品化できる人材 など

高等専門職業教育の新たな 枠組みにより、社会の変化 に対応しつつ、人材養成の 強化を図る。

大学制度の中に位置付けられ、専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、「専門職大学」及び「専門職短期大学」の制度を設ける。 → 設置基準(省令)等により具体的な制度を設計 [*印] 《法制度の概要》

1. 目的等

ができる専門職業人材の養成が急務。

- 深く専門の学芸を教授研究し、<u>専門職を担うための実践的かつ応用的な能力を育成・展開することを目的</u>とする。 <u>①機関の目的</u>
 - * 実習等の強化(卒業単位の概ね1/3以上。長期の企業内実習等) * 実務家教員の積極的任用(必要専任教員数の概ね4割以上)
- ②学位の授与 課程修了者には、文部科学大臣が定める学位を授与する。
 - → *「学士(専門職)」又は「短期大学士(専門職)」を授与

2. 社会のニーズへの即応

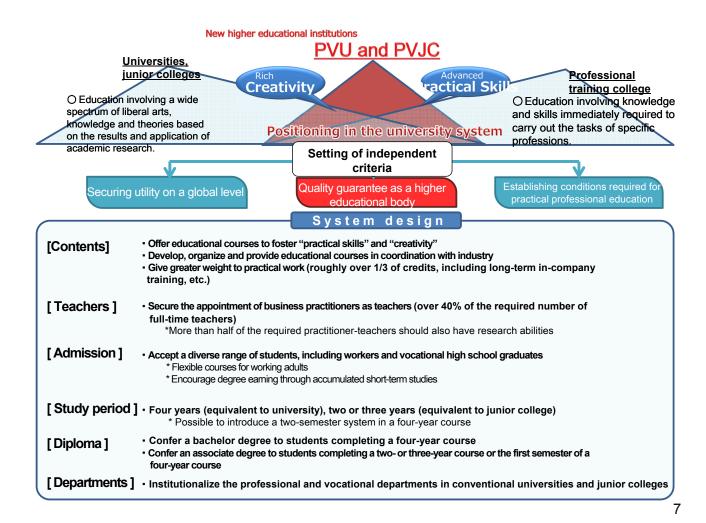
- ①産業界等との連携 専門職大学等は、文部科学大臣の定めるところにより、専門性が求められる職業に関連する事業を行う 者等の協力を得て、教育課程を編成・実施し、及び教員の資質向上を図る。
 - → * 産業界等と連携した教育課程の開発・編成・実施のための体制整備(「教育課程連携協議会」)
- ②認証評価における分野別評価 専門職大学等の認証評価においては、専門分野の特性に応じた評価を受ける。
 - → * 産業界等と連携した認証評価の体制整備

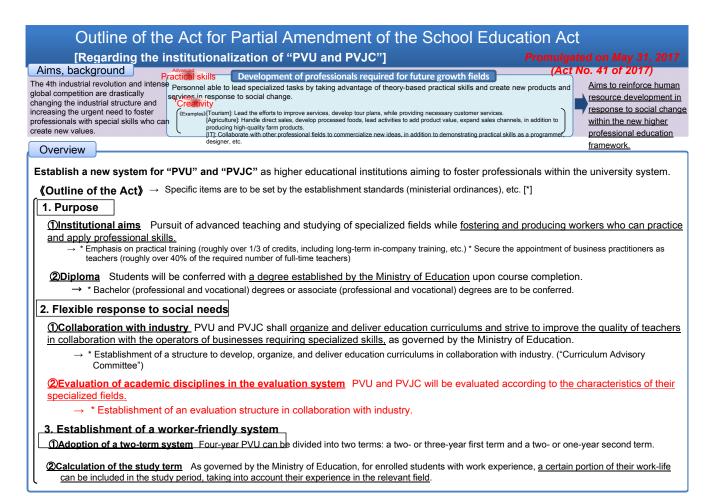
3. 社会人が学びやすい仕組み

- ①前期・後期の課程区分 専門職大学(4年制)の課程は、前期(2年又は3年)及び後期(2年又は1年)に区分できる。
- 実務の経験を有する者が入学する場合には、文部科学大臣の定めにより、当該実務経験を通じた能力の修得 ②修業年限の通算 を勘案して、一定期間を修業年限に通算できる。

施行期日

平成31年4月1日



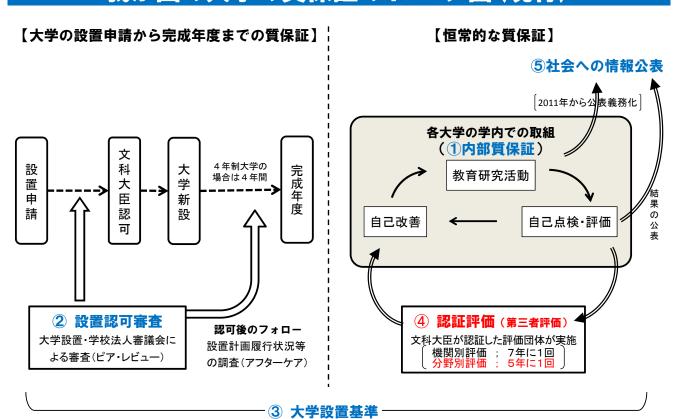


Enforcement date

2. 日本における大学の質保証の仕組み

9

我が国の大学の質保証のイメージ図(現行)

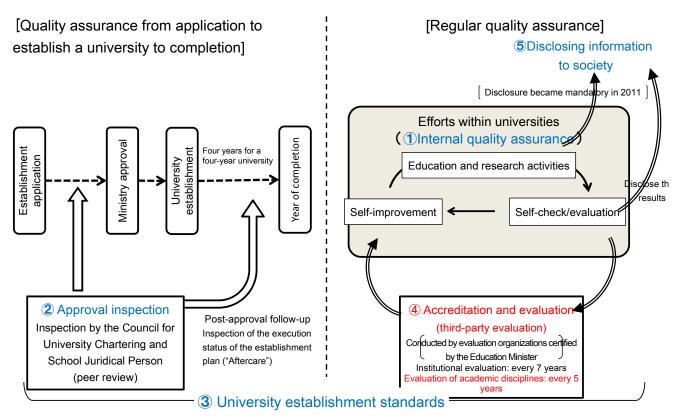


教育課程, 教員数・教員資格, 校地・校舎面積などの最低基準を定める(教育研究水準を確保)

Universities' Quality Assurance System in Japan

9

Image of University Quality Assurance in Japan (Present)



Set the minimum required level of education curriculums, number and qualifications of teachers, total area of the premise, buildings, etc. (aimed at securing education and research standards).

2003年の質保証に関する制度改正の概要

【規制改革の動き】

- 〇総合規制改革会議「規制改革の推進に関する第1次答申」(2001年12月)
 - 高等教育における自由な競争環境の整備
 - ・大学・学部の設置規制の準則化(審査基準をあらかじめ法令上明確化)と届出制の導入
 - ・大学・学部の設置等に係る認可に対する抑制方針の見直し
 - ・第三者による継続的な評価制度の導入

【中央教育審議会の提言】

〇「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」(2002年8月答申)

「国**の事前規制である設置認可を弾力化**し、大学が自らの判断で社会の変化等に対応して多様で特色のある教育研究活動を展開 できるようにする。それとともに、**大学設置後の状況について当該大学以外の第三者が客観的な立場から継続的に評価を行う** 体制を整備する。これらのことにより、大学の自主性・自律性を踏まえつつ、大学の教育研究活動の質の維持向上を図り、その一層 の活性化が可能となるような新たなシステムを構築することとする。」

○設置認可の在り方の見直し

- ・設置認可の対象の見直し(届出制の導入)
- 抑制方針の撤廃

(医師、歯科医師等の養成分野は除く)

寒杏其準の見直」。

(審査基準をあらかじめ法令上明確化)

○第三者評価制度の導入

- ・国の認証を受けた評価機関が大学を定 期的に評価
- 評価結果を公表 (自己点検・評価の公表を義務化 (2004年))

○法令違反状態の大学に対する是正措置

・段階的な是正措置の導力

(閉鎖命令の前に改善勧告や変更命令等の是正措置 を導入)

①設置認可の見直し (2003年度審査(2004年度開設)より適用)

〇届出制度の導入 (学校教育法の改正)

○抑制方針の撤廃 (審議会内規の廃止)

〇設置審査の準則化 (省令(大学設置基準等)及び告示の改正・制定)

②認証評価制度の導入 (2004年度より適用) (学校教育法の改正)

<u>③法令違反状態の大学に対する段階的是正措置の導入</u> (2003年度より適用) (学校教育法の改正)

11

大学等の認証評価について【現行制度①】

大学、短期大学、高等専門学校は、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価(認証評価)を受ける こととする制度が導入されている(2004年4月施行)

①大学等の総合的な状況の評価(機関別認証評価)

- ・7年以内ごとに、大学等の教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況についての評価を実施。
- ・大学等は、複数の認証評価機関の中から機関を選択。各認証評価機関の定める評価基準に従い評価を実施。

【各認証評価機関の評価基準の項目】

<大学基準協会> 10の基準の下に、45項目の「点 検・評価項目」を設定

- 1 理念・目的
- 2 教育研究組織
- 3 教員·教員組織
- 4 教育内容•方法•成果
- 5 学生の受け入れ
- 6 学生支援
- 7 教育研究等環境
- 8 社会連携・社会貢献
- 9 管理運営・財務
- 10 内部質保証

<大学改革支援·学位授与機構> 10の基準の下に、81項目の「基本的 な観点」を設定

- 1 大学の目的
- 2 教育研究組織
- 3 教員及び教育支援者
- 4 学生の受入
- 5 教育内容及び方法
- 6 学習成果
- 7 施設・設備及び学生支援
- 8 教育の内部質保証システム
- 9 財務基盤及び管理運営
- 10 教育情報等の公表

<日本高等教育評価機構>

4の基準の下に、22項目の「基準項目」を 設定。基準項目ごとに「評価の視点」(51項 目)を設定。

- 1 使命・目的等
- 2 学修と教授
- 3 経営・管理と財務
- 4 自己点検·評価

<短期大学基準協会>

4の基準の下に、12の「テーマ」を設定。テ の下に「区分」を29区分設定し、区分ごとに「自 己点検・評価のための観点 (72観点)を設定。

- 1 建学の精神と教育の効果
- 2 教育課程と学生支援
- 3 教育資源と財的資源
- 4 リーダーシップとガバナンス

【評価の手順】(大学基準協会の例)

申請書類·評価 教育研究評価 書類の受理 (書面調査及び実地調査) 評価結果(委員 会案)の送付

意見の申立て (任意)

評価報告書 の確定

適合の 場合 社会への公表 文部科学省等へ提供

評価結果に対する 異議申立て(任意)

Outline of the Quality Assurance System Revisions in 2003

[Move toward regulatory reform]

OCouncil for Regulatory Reform -- "First Report Regarding the Promotion of Regulatory Reform" (Dec 2001)

Establishment of an environment to facilitate free competition in higher education

- · Regulations for establishing universities and faculties (clear legal statement on the screening criteria) and introduction of a notification
 - · Review of restrictive control policies on the establishment of universities and faculties
 - · Introduction of a continuous accreditation system by third-party bodies

[Proposal by the Central Council for Education]

O "Regarding the establishment of a new university quality assurance system" (submitted in Aug 2002)

"By enhancing the flexibility of the government's pre-establishment approval, allow universities to respond to social changes and pursue more diversified education and research activities, and establish a system to have third-party bodies conduct continuous, objective evaluations of the universities' activities. With these features in mind, a new system should be established to improve the quality of university education and research activities while respecting their independence and autonomy.

O Review of the establishment approval method

- Review of the establishment approval targets (introduction of an application
- · Abolition of restrictive policies (excluding the fields pertaining to doctor/dentist training)
- · Review of the screening criteria (clear legal statement of the screening criteria)

OIntroduction of a third-party evaluation O Introduction of correction system

- Regular evaluation of universities by government-certified evaluation bodies
- Disclosure of the evaluation results (obliged) disclosure of the self-inspection/evaluation results (2004))
- universities violating the laws and regulations
- · Gradual introduction of correction measures (take corrective measures, e.g., improvement recommendation and change orders, before issuing a closure order)

①Review of establishment approval (applied from screenings in FY2003 (for schools established in FY2004))

Ointroduction of a notification system (Amendment of the School Education Act)

OAbolition of restrictive policies (abolition of the Council's internal regulations)

OCreation of establishment screening regulations (revision/formulation of ministerial ordinances (on university establishment criteria) and announcement)

②Introduction of an evaluation accreditation system (applied from FY2004) (Amendment of the School Education Act)

3 Introduction of gradual corrective measures for universities violating the regulations (applied from FY2003) (Amendment of the School Education Act)

University and College Evaluation and Accreditation [Current System 1]

A system requiring universities, junior colleges and colleges of technology to be evaluated by organizations certified by the Ministry of Education (certified evaluation and accreditation) (effective April 2004)

①Evaluation of the Overall Status of Universities and Colleges (Evaluation of Institutions)

- · Evaluation of the universities' overall status of education and research, organizational operation, and facilities and equipment is conducted
- every 7 years or less.

 Universities are allowed to choose from several evaluation and accreditation organizations, and the evaluations are conducted according to the criteria set by each organization.

[Evaluation criteria of some organizations]

<Japan University Accreditation</p> Association>

Total of 45 check and evaluation items under 10

- criteria 1. Mission and Purpose
- 2. Education and Research Organization
- 3. Faculty and Faculty Organization
- 4. Educational Content, Methods, and Outcome
- 5. Enrollment
- 6. Student Support
- 7. Education and Research Environment
- 8. Social Cooperation and Contribution
- 9. Administration and Finance 10. Internal Quality Assurance

<National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education>

Total of 81 "viewpoints" under 10 standards

- 1. Mission of the University
- 2. Teaching and Research Structure
- 3. Academic Staff and Teaching Support Staff
- 4. Student Admissions
- 5. Academic Programs
- 6. Learning Outcomes
- 7. Facilities and Student Support
- 8. Internal Quality Assurance System of Teaching and Learning
- 9. Finance and Management
- 10. Public Information on Teaching and Learning

<Japan Institution for Higher Education</p>

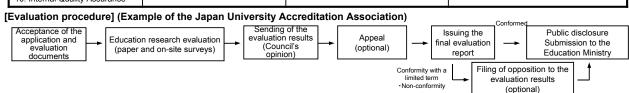
Total of 22 points under 4 standards, with each point evaluated according to the evaluation perspective (total 51)

- 1. Mission and Objectives, etc.
- 2. Learning and Teaching
- 3. Management, Administration and
- 4. Self-Inspection and Evaluation

<Japan Association for College</p> Accreditation:

Total of 12 themes set under 4 standards with 29 points under the themes and further divided into 72 points for selfcheck and evaluation

- 1. Mission and Educational Effectiveness
- 2. Curriculum and Student Support Services
- 3. Educational Resources and Financial Resources
- 4. Leadership and Governance



大学等の認証評価について【現行制度②】

②専門職大学院の評価(分野別認証評価)

- ・5年以内ごと、分野ごとに、専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況についての評価を実施。
- ・大学等は、専門職大学院の課程に係る分野の認証評価機関による評価を受審。各認証評価機関の定める評価基準に基づき評価を実施。

分野	認証評価機関
	公益財団法人日弁連法務研究財団
 法科大学院 	独立行政法人 大学改革支援·学位授与機構
	公益財団法人大学基準協会
経営(経営管理、 技術経営、ファイナ ンス、経営情報)	一般社団法人ABEST21
経営(経営管理、 会計、技術経営、 ファイナンス)	公益財団法人大学基準協会
会計	特定非営利法人 国際会計教育協会
知的財産	一般社団法人ABEST21
, AIRTH/座	公益財団法人大学基準協会
助産	一般財団法人日本助産評価機構
臨床心理	公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会

分野	認証評価機関
公衆衛生	公益財団法人大学基準協会
社会福祉	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
教員養成(教職大学 院、学校教育)	一般社団法人教員養成評価機構
公共政策	公益財団法人大学基準協会
情報、創造技術、組込技術、原子力	一般財団法人 日本技術者教育認定機構(JABEE)
ファッション・ ビジネス	公益財団法人 日本高等教育評価機構
ビューティビジネス	一般社団法人 専門職高等教育質保証機構
環境∙造園	公益財団法人日本造園学会
デジタル・ コンテンツ	公益財団法人大学基準協会
グローバル・ コミュニケーション	公益財団法人大学基準協会

認証評価制度の改善に向けた課題

≪背景•課題≫

- 大学の質保証については、2004年に第三者評価制度である認証評価制度が導入され、現在2巡目の評価が 実施されているところ、現行の認証評価制度に対しては、以下のような指摘がなされている。
 - ・法令適合性等の外形的な評価項目等が多く、必ずしも教育研究活動の質的改善が中心となっていない
 - · 評価結果を教育研究活動の改善に活かす仕組みが十分ではない
 - ·社会一般における認証評価の認知度が十分ではない

中央教育審議会大学分科会大学教育部会を中心に認証評価制度の改善に向け検討

- ≪2016年3月18日≫中央教育審議会大学分科会「認証評価制度の充実に向けて(審議まとめ)」をとりまとめ
 - ⇒ 審議まとめを踏まえ、所要の省令改正(2016年3月31日公布、2018年4月1日施行)
- 【省令改正事項】 学校教育法第百十条第二項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令の一部を改正する省令の一部改正 〇大学評価基準、評価方法の充実
 - ※大学評価基準において定めるべき事項に、<u>3つの方針*に関すること</u>及び<u>内部質保証に関すること(重点評価項目)</u>を追加する。 *卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)
 - ※評価方法含めるべき事項に、高等学校、地方公共団体、民間企業等の関係者からの意見聴取を追加する。

〇設置計画履行状況等調査(AC)との連携

- ※ 認証評価機関はACの結果を踏まえた文部科学大臣の意見において「<u>是正意見」「改善意見」が付された大学</u>に対する 評価を行うに当たっては、<u>当該意見に対して講じた措置を把握</u>するものとする。
- ○認証評価機関の自己点検・評価の義務化
 - ※ 認証評価機関は、大学評価基準、評価方法、評価の実施状況及び組織運営の状況について<u>自ら点検評価を行い、</u> その結果を公表するものとする。

さらに、現在、高等教育の将来構想に関する中央教育審議会の審議の中で、認証評価制度についても、 国立大学法人評価との関係整理、機関別評価と分野別評価との関係整理等による効率化などの見直しを検討中 14

University and College Evaluation and Accreditation [Current System2]

2 Evaluation of professional graduate schools (evaluation of academic disciplines)

- Evaluation of academic disciplines offered by the schools' curriculums, faculty organization, and education and research activities is conducted every 5 years or less.
- Universities have their professional graduate school courses evaluated by organizations specializing in the relevant fields, and the evaluations are conducted according to the criteria set by each organization.

Academic discipline	Accreditation organization	
	Japan Law Foundation	
Law school	National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education	
	Japan University Accreditation Association	
Business (business administration, technology management, finance, management information)	ABEST21	
Business (business administration, accounting, technology management, finance)	Japan University Accreditation Association	
Accounting	Japanese Institute of International Accounting Education	
Intellectual property	ABEST21	
intellectual property	Japan University Accreditation Association	
Midwifery	Japan Institute of Midwifery Evaluation	
Clinical psychology	Foundation of the Japanese Certification Board for Clinical Psychologies	

Academic discipline	Accreditation organization
Public health	Japan University Accreditation Association
Social welfare	Japanese Association for Social Work Education
Teacher training (graduate schools of teacher education, school education)	The Institute for the Evaluation of Teacher Education
Public policy	Japan University Accreditation Association
Information, creative technology, embedding technology, nuclear energy	JABEE
Fashion, business	Japan Institution for Higher Education Evaluation
Beauty business	Institution for Accreditation and Quality Assurance of Professional Higher Education
Environment, landscape gardening	Japanese Institute of Landscape Architecture
Digital contents	Japanese University Accreditation Association
Global communication	Japanese University Accreditation Association

Challenges in Improving the Evaluation and Accreditation System

≪Background and issues≫

- O The Certified Evaluation and Accreditation System was introduced in 2004 to entrust quality assurance of universities to third-party bodies, who are now conducting the second round of evaluations. However, the following issues regarding to the evaluation and accreditation system have emerged.
 - Many evaluation items are mere formalities or checks of legal compliance, and do not necessarily lead to quality improvements in education and research activities.
 - There is no effective mechanism to reflect the evaluation results in improving the universities' education and research activities.
 - The evaluation and accreditation system has yet to be widely recognized in society.

The University Education Panel of the Central Council for Education's University Subdivision is leading the efforts to improve the Certified Evaluation and Accreditation System.

<<March 18, 2016>> The Central Council for Education's University Subdivision compiled the report titled "Enhancement of the Certified Evaluation and Accreditation System (discussion summary)."

⇒ The ministerial ordinance was revised based on the report. (Promulgation: Mar 31, 2016; Enforcement: Apr 1, 2018)

[Revised items of the ministerial ordinance]

Partial Revision of the Ministerial Ordinance for Partial Revision of the Ordinance Stipulating Detailed Terms in Applying the Standards Prescribed in Paragraph 2, Article 110 of the School Education Act

$\ensuremath{\mathsf{O}}$ Improvements in university evaluation standards and methods

Addition of items regarding the three policies and internal quality assurance (priority evaluation item) to the items required in the university evaluation standards.

* Diploma policy, curriculum policy, admission policy

*Addition of the <u>opinions of high schools, local public organizations and private companies</u> to the items required for the evaluation methods. **OCoordination with the survey on the status of implementing the establishment plan (AC)**

※ In evaluating universities that have received <u>suggestions for correction or improvement</u> from the Education Minister based on the AC result, the certified evaluation and accreditation organization must <u>recognize the measures taken in response to the suggestions</u>.

OObligation of the certified evaluation and accreditation organizations to conduct self-inspections/evaluations

X Certified evaluation and accreditation organizations must conduct self-inspections/evaluations of the university evaluation standards, evaluation methods, progress of implementation and organizational operation, and disclose the results.

機関別評価と分野別評価に係る基準等に関する細目

*細日省会:学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省会

	・同日日に、「大から広が、「マネガースへのたくの子子とだけ」というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ				
	機関別認証評価	分野別認証評価			
評価内容	 ≪大学評価基準に定める事項≫(細目省令第1条第2項) ①教育研究上の基本組織 ②教員組織 ③教育課程 ④施設及び設備 ⑤事務組織 ⑥卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針 ⑥教育研究活動等の状況に係る情報の公表 ⑦教育研究活動等の改善を継続的に行う仕組み【重点的に評価】 ②教育研究活動等に関すること 	 ≪大学評価基準に定める事項≫(細目省令第1条第3項) ①教員組織 ②教育課程(教育課程連携協議会に関することを含む) ③施設及び設備 ④学習の成果(進路に関することを含む) ④その他教育研究活動に関すること			
					
評価方法等	《関係者からの意見聴取》(細目省令第1条第2項第4号) ○ 評価の実施に当たり高等学校、地方公共団体、 <u>民間企業</u> その他の関係者からの意見聴取	《関係者からの意見聴取》(細目省令第1条第3項第2号) ○ 評価の実施に当たり、 <u>関連職業団体関係者等</u> 及び高等学校、 地方公共団体その他の関係者の意見聴取 ○ 大学評価基準の制定・変更に当たり、関連職業団体関係者等 の意見聴取			
寺		《評価後の対応》(細目省令第3条第2項) ○ 認証評価の後、次の認証評価を受ける前に、教育課程又は教員 組織に重要な変更があったときは、必要に応じ、公表した評価の 結果に当該事項を付記する等の措置を講ずるよう努力			
評価	《認証評価の業務に従事する者》(細目省令第2条第1項第 ○ 大学の教員及びそれ以外の者であって大学の教育	1号) 研究活動等に関し識見を有するものの認証評価の業務への従事			
評価体制		○ 当該専門職大学等の分野に関し実務の経験を有する者の認証 評価の業務への従事			
		15			

3. 専門職大学等の質保証に向けた課題

Detailed Items of the Evaluation Standards for Institutions and Academic Disciplines

* Ordinance on Details: Ministerial Ordinance Stipulating the Necessary Details in Applying the Standards Prescribed in Paragraph 2. Article 110 of the School Education Act

	the Standards Prescribed in Paragraph 2, Article 110 of the School Education Act			
	Certified Evaluation of Institutions	Certified Evaluation of Academic Disciplines		
Evaluation contents	≪Items to include in the university evaluation standards≫ (Ordinance on Details, Article 1, Paragraph 2) ①Basic organization of education and research ②Faculty ③Curriculum ④Facilities and equipment ⑤Administration ⑥Policies on graduation certification, curriculum configuration and provision, and student admission ⑥Disclosure of information on the status of education, research activities, etc. ⑦Mechanism for continuously improving education, research activities, etc. [priority evaluation items] ⑧Finance ⑨Other matters related to education and research activities	≪Items to include in the university evaluation standards≫ (Ordinance on Details, Article 1, Paragraph 3) ①Faculty ②Curriculum (including matters of the Curriculum Advisory Committee) ③Facilities and equipment ④Education results (including matters related to courses after graduation)		
Evaluation methods, etc.		Details, Article 1, Paragraph 1, Item 4) //evaluations and on-site surveys 《Opinions of relevant people》 (Ordinance on Details, Article 1, Paragraph 3, Item 4) O Opinions of relevant professional organizations, high schools, local public organizations, and other relevant people for conducting evaluations O Opinions of relevant professional organizations for setting or revising the university evaluation standards 《Actions after evaluation》 (Ordinance on Details, Article 3, Paragraph 2) O For major curriculum or faculty changes made after the certified evaluation and before the next evaluation, the evaluation organization		
Evaluation structure	≪People engaged in certified evaluation and accreditatio O Assignment of faculty members or others with insights into uni	must make efforts to add a supplementary note, etc. in the published evaluation results. n> (Ordinance on Detail, Article 2, Paragraph 1, Item 1) iversity education, research activities, etc. to the task of certified evaluation O Assignment of people with work experience in the specialty of the PVU and PVJC to the task of certified evaluation		

3. Issues of Quality Assurance for PVU and PVJC

「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について(答申)」(平成28年5月中央教育審議会)-抜粋-

第一部 社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな 高等教育機関の制度化について

第Ⅳ章 新たな高等教育機関の制度設計等

- 2. 基本的視点等を踏まえた制度設計の在り方
- (2)具体的設計
- ④高等教育機関としての質保証と国際的な通用性の担保、実践的な職業教育に相応しい教育条件の整備 (質保証の仕組み)
 - 我が国の高等教育については、平成10年代後半以降、「事前規制から事後チェックへ」の流れの中で、設置審査の準則化や設置認可における量的抑制の原則撤廃、設置認可手続の見直し(届出設置制度の導入)、認証評価制度の導入、法科大学院*¹をはじめとした専門職大学院の創設などが進められ、大学の量的規模は拡大したが、その教育の水準と内容に関しては、大学等の内外から様々な指摘がなされている。
 - 新たな高等教育機関は、国内的・国際的通用性の確保の観点からも、適切な質保証の仕組みを整えることが必要である。実践的な職業教育に最適化した大学教育を行う機関として、その学校設置認可は、新しい基準の下、適切な審査体制により実施されるものとすると同時に、大学体系に位置付くとともに、産業界と連携して教育を行う機関として、情報公表や評価についても、相当の水準を求める必要がある。これらを踏まえ、新たな機関に関する質保証の仕組みについては、次のようにすることが適当である。
 - *1 法科大学院は、設置審査の準則化の原則に即し、当初74校が設置認可されたが、法科大学院全体の司法試験合格率や 法曹の活動の場の拡がりなどが、制度創設当初に期待されていた状況と異なるものとなったことによる志願者の減少などにより、 現在までに32校が募集停止を表明(うち3校は既に廃止)している。入学定員についても、平成19年のピーク時の5,825人か ら、平成28年度には2,724人にまで減少している。国においては、法科大学院への公的支援の見直しによる法科大学院間の メリハリのある予算配分の実施を通じて、大学の自主的な組織見直しや、教育の質の向上のための取組を促している。

17

第Ⅳ章 新たな高等教育機関の制度設計等

- 2. 基本的視点等を踏まえた制度設計の在り方
- (2)具体的設計
- ④高等教育機関としての質保証と国際的な通用性の担保、実践的な職業教育に相応しい教育条件の整備 (質保証の仕組み)

:

- ・ 質の高い実践的な職業教育を担う機関として相応しい設置基準等を制定する。認可庁は国とし、大学設置・ 学校法人審議会に新たな審査会を設けて審査を実施する。新たな機関が、一段低い高等教育機関と見られる ようなことにならないよう、教員や教育内容(企業内実習等を含む。)などの質が十分に確保されたものを認可 する観点から、的確な審査体制を整える。
- ・ 設置認可審査に際しては、設置構想全体が社会的ニーズ等を反映し、学生確保・人材需要の見通し等の面からも、十分現実性が認められるものであることを確認する。
- ・ 教育研究活動等の状況に関しては、現行の大学・短期大学が実施しているものと同等、又はそれ以上に充実した情報公表を義務付ける。
- ・ 大学・短期大学と同様、自己点検・評価、認証評価機関による評価を義務付ける。認証評価に関しては、分野 別質保証の観点からの評価を採り入れること、新たな機関のみを設置する場合は機関別評価と分野別評価を 一体的に行ったり、新たな機関を併設する場合は、機関別評価は大学全体として行い、新たな機関については 分野別評価を中心に行ったりして効率化を図ること等を含め、効果的な評価の導入を図る。
- ・ 情報公表及び評価に当たっては、産業界等をはじめとしたステークホルダーに対し、各機関の教育の質や学生の学修成果を分かりやすく明示していくものとする。そのため、できる限り客観的な指標を採り入れた仕組みを導入する。

"Educational diversity and quality assurance designed to bring forth the abilities and potential of individuals, and to realize a society in which all members can take part in resolving problems (report)"

(The Central Council for Education, May 2016) -excerpt-

Part 1. Institutionalization of a new type of higher educational institution for fostering high-quality professionals able to cope with society's demand for human resources arising from social and economic changes

Chapter IV. System Design of a New Type of Higher Educational Institution, etc.

2. Basic views on system design

- (2) Specific design
 - Quality assurance of higher educational institutions guarantees their global strength and establishes the educational conditions desirable for practical professional education.

(Quality assurance mechanism)

- OAs Japan's higher education shifts "from prior regulations to ex post checks," various measures have been taken since the early 2000's, including the formulation of establishment screening rules, elimination (in principle) of quantitative restrictions on establishment approval, review of the establishment approval procedure (introduction of an establishment application system), introduction of a certified evaluation and accreditation system, and establishment of law schools and other professional graduate schools. *1 These measures have accelerated the quantitative expansion of universities, leading to various suggestions being made by universities and external parties as to the level and contents of their education.
- O The creation of an appropriate quality assurance system for a new type of higher educational institution is crucial for maintaining their domestic and international strength. For schools to provide optimized university education as practical professional training, establishment approval must be conducted according to a new standard under an appropriate screening structure. It is also important to incorporate these new institutions into the existing university system. Since schools provide education in collaboration with industry, they are also required to maintain a high degree of information disclosure and evaluation. Under these circumstances, the quality assurance mechanism for a new type of educational institution shall be as follows.
 - *1 Among the 74 established law schools approved by the establishment screening rules, 32 have already suspended the acceptance of applicants (including three that have ceased taking applicants altogether) because of the declining number of applicants, due partly to the gap between initial expectations and the actual bar exam passing rate of law school students as a whole and the difficulty of pursuing a career in the legal profession. The enrollment limit peaked in 2007 at 5,825, before falling to 2,724 in 2016. The government has encouraged institutions to reexamine their organization and improve the quality of education offered, and has reconsidered its assistance to law schools by differentiating the budgetary funds dispersed among institutions.

Chapter IV. System Design of a New Type of Higher Educational Institution, etc.

2. Basic views on system design

- (2) Specific design
- Quality assurance of higher educational institutions guarantees their global strength and establishes the educational conditions desirable for practical professional education.

(Quality assurance mechanism)

- •Formulate the appropriate standards for educational institutions that provide high-quality, practical professional training. The central government oversees establishment approval through a new screening board set up under the Council for University Chartering and School Juridical Person to assess applications. The screening structure must be appropriately organized to ensure that approval is given to schools with high levels of faculty and educational contents (including in-company training), and that the schools are not considered inferior to conventional higher educational facilities.
- Examine school establishment plans to confirm that they reflect societal needs and are fully feasible in terms of securing a sufficiently large student body and a promising outlook for their demand.
- Oblige the schools to disclose the same or higher levels of information on their education and research activities as conventional universities and junior colleges.
- •Oblige universities and junior colleges to conduct self-inspections/evaluations as well as undergo evaluations by certified evaluation and accreditation organizations. Certified evaluation and accreditation of academic disciplines must be conducted from the perspective of quality assurance. An effective evaluation system must also be introduced; e.g. when establishing a new school, evaluations of institutions and academic disciplines are conducted together; when an existing university establishes a new school, the entire university undergoes an institutional evaluation, while the newly established school is evaluated for its academic disciplines.
- •When disclosing information or conducting an evaluation, the institution's educational quality or students' study outcomes must be shown clearly to industry and other stakeholders. To that end, the standards of the evaluation method should be as objective as possible.